

県に誤ってサンプルを提出した問題で、古田  
肇知事に謝罪する石原産業の田村藤夫社長  
(中央)＝県庁



# 「失態、重ねておわび」 石原産業社長 古田知事に謝罪

県内で放射性物質を含む埋め戻し材「フェロシルト」が使用され、環境基準を超える有害物質が検出された問題で、製造元の石原産業(本社大阪市の田村藤夫社長が二十七日、県庁の古田肇知事を訪ね、県に誤って改良品のサンプルを提出したことを謝罪した。古田

知事は「大変遺憾」と述べ、取り違えた原因の徹底究明を求めた。県は今年五月、石原産業四日市工場を立ち入り検査した際、フェロシルトの提出を受け、その分析を検討委員会の資料にしていた。ところが今月十五日、提出されたサンプルが、出荷された問題と重なっておわびしたい。原因を調査し報告したい」と謝罪し、てん末書を提出した。古田知事は「大変遺憾。社内の危機管理体制はどうなっているのか」と厳しく述べ、原因の徹底究明を求めた。併せて、使用個所のフェロシルトを年内に全量撤去するという計画に、遅れが生じていることについても「早期撤去の道筋を立てて示してほしい」と要請した。

また、田村社長は報道陣の質問に、県から要請があれば取り違えて無駄になった分析費などの諸費用を弁償する考えを明らかにした。

## 有害物質含有 フェロシルト 県検査に改良品提出

### 有害物質含有 フェロシルト

#### 石原産業 「手続きミス」と説明

県内で使用されていた微量な放射性物質を含む土壌改良材「フェロシルト」から環境基準を超える六価クロムなどの有害物質が検出された問題

で、製造元の化学メーカー・石原産業(本社・大阪市)が今年五月、汚染原因を調査している県に

対し、実際に販売されているフェロシルトよりク

ロム含有量が著しく少ない改良品をサンプルとして提出していたことが27日、分かった。

同社の田村藤夫社長が同日、県庁を訪れ、古田

肇知事に経緯を説明し「手続き上のミスと報告を受けているが、再発防止に努めたい」と陳謝した。

同社によると、改良品は今年2月、フェロシルトを土壌改良材以外の用途で使用できるよう、チタンやアルミニウムなどの不純物を取り除いて製造された。県内には計10カ所に約3万トンのフェロシルトが埋まっていることが判明。このうち、土

同社によると、改良品は今年2月、フェロシルトを土壌改良材以外の用途で使用できるよう、チタンやアルミニウムなどの不純物を取り除いて製造された。県内には計10カ所に約3万トンのフェロシルトが埋まっていることが判明。このうち、土

同社によると、改良品は今年2月、フェロシルトを土壌改良材以外の用途で使用できるよう、チタンやアルミニウムなどの不純物を取り除いて製造された。県内には計10カ所に約3万トンのフェロシルトが埋まっていることが判明。このうち、土

同社によると、改良品は今年2月、フェロシルトを土壌改良材以外の用途で使用できるよう、チタンやアルミニウムなどの不純物を取り除いて製造された。県内には計10カ所に約3万トンのフェロシルトが埋まっていることが判明。このうち、土

同社によると、改良品は今年2月、フェロシルトを土壌改良材以外の用途で使用できるよう、チタンやアルミニウムなどの不純物を取り除いて製造された。県内には計10カ所に約3万トンのフェロシルトが埋まっていることが判明。このうち、土

【式守克史】